【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成22年6月3日(2010.6.3)

【公開番号】特開2009-97889(P2009-97889A)
【公開日】平成21年5月7日(2009.5.7)
【年通号数】公開・登録公報2009-018
【出願番号】特願2007-267134(P2007-267134)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｎ　29/04　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｎ　29/10　　５０１

【手続補正書】
【提出日】平成22年4月19日(2010.4.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
タービン発電機エンドリングを斜角法によって超音波探傷する第１のステップと、前記第１のステップの超音波探傷にて指示エコーが検出された部位に、応力腐食割れのような密集欠陥の場合は集束垂直法、疲労割れのような閉じた欠陥の場合はＳＰＯＤ法を用いる方法で超音波探傷を適用する第２のステップと、からなることを特徴とするタービン発電機エンドリングの欠陥検出方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
上記目的を達成するために、本発明におけるタービン発電機エンドリングの欠陥検出方法は、タービン発電機エンドリングを斜角法によって超音波探傷する第１のステップと、前記第１のステップの超音波探傷にて指示エコーが検出された部位に、応力腐食割れのような密集欠陥の場合は集束垂直法、疲労割れのような閉じた欠陥の場合はＳＰＯＤ法を用いる方法で超音波探傷を適用する第２のステップと、からなることを特徴とする。